

## 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500185
事業所名	グループホームはるすのお家太閤

## 【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会・老人会に加入し、地域神社の秋祭りにも参加している。昨年目標達成計画に掲げた『こども110番』を実現し、玄関には登録証が掲げられていた。開設時から懇意にしてもらっている町内の喫茶店は、近所の独居老人の情報などを知らせてくれたり、入口にわざわざスロープも設けてくれ、入居者の想いの場所を提供してくれ、地域浸透へのキーマンとなってくれている。	
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族・職員・薬剤師・他グループホーム管理者・地域包括職員をメンバーとし、年6回の開催が確認された。昨年目標達成計画に掲げたこども110番も実現した。葬儀社の営業をきっかけに家族アンケートを実施し、「看取りだけでなく、葬儀自体が想像できない」と言う声を反映し、今年度も昨年に引き続き、葬儀社を招き『終活』講座を開催した。	
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護入居者が7名いるため、医療受診の申告・報告、おむつ補助の申請など、毎月の保護課訪問は欠かせない。区の保護課からは、地域の・独居保護受給の認知症老人につき、入居の照会もある。毎月地域包括センター主催の会議にも参加している。	
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホームでの「敬老会」「クリスマス会」「餅つき大会」開催時には家族も多く参加するため、終了後食事会・運営推進会議を兼ねて家族会を開催している。ホーム便りは毎月届けられている。名古屋駅に近いため、遠方からの家族面会時の宿泊場所として和室を提供している。	
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

## 1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

## 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認事項
	(例示)  ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
2. 事業所と地域のつきあい	(例示)  ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示)  ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示)  ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示)  ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

## 【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	×	○	○		